

全中理開発教材コンテスト（案）

基本的な考え方

- 1 コンテストの趣旨
 - 中学校の理科の授業において、創意と工夫があり、著しい教育効果が期待できる教材の普及を図る。
 - 秀逸な教材を開発した教員に、グランプリとして賞を贈呈する。
- 2 応募方法及び応募点数
 - 開発教材の応募方法 及び選考手順
 - 所定の様式の「教材の概要」及び様式がない「添付資料」を提出する。
 - 「教材の概要」はA4判1枚（表のみ）、「添付資料」はPDF形式でA4判で枚数制限なし。様式はなく、教材の写真や解説等を掲載することができる。
 - 審査は2段階。まず「教材の概要」「添付資料」による書類審査を行う。その段階でグランプリ候補教材を数点に絞る。書類審査の段階で、教材実物や撮影した動画等の提出は事前に相談の上提出可とする。
 - 最終審査では書類審査の結果と合わせて、オンラインでの動画審査を行う。
 - 各都道府県で2点以内
- 3 応募受付の方法及び期間
 - 申し込みは全中理HPからDLする「所定の様式」の提出で受け付ける。
締切 令和3年10月1日（水）必着。担当者までメールにて提出する。
 - 「添付資料」の提出について
締切 令和3年12月1日（水）必着。担当者までメールにて提出する。
- 4 賞
 - グランプリ全中理会長・理振協会賞（その他の賞及び副賞について今後検討する）

具体的なスケジュール

- 令和3年12月15日から1月8日まで審査。
- web-site上にある非公開の書類を閲覧する形式。
- 審査員は全中理役員及び各都道府県の理事。
- 最終審査は令和4年__月__日（日）全中理役員会（週休日に設定予定）。
- 全中理ホームページに開発教材の応募一覧として全タイトルを掲載。
- 令和4年度全中理三重大会総会で表彰。
- 受賞作品は令和4年度の全中理指導資料集及び全中理ホームページに掲載。

今後の流れ

令和3年5月	役員会で提案 その他の賞、副賞の調整
令和3年7月	全中理・広島大会で承認
令和3年8月	第1回の募集開始
令和3年1月	web-siteによる書類審査 オンラインによる最終審査
令和4年5月	表彰する教材を審査会で内定
令和4年8月	表彰する教材を役員会で決定
令和4年8月	全中理・三重大会で表彰 第2回の募集開始

近年全国大会を開催した都道府県、また今後全国大会を予定している都道府県は、進んで出展いただきますようお願いいたします。